



日本化学産業株式会社 埼玉工場

「休める職場風土づくりの取組」



企業概要

事業開始：昭和35年（1960年）
所在地：草加市
事業内容：工業薬品・成型加工品
製造販売
従業員数：195人（埼玉工場のみ）
（男性175人、女性20人）

取組のきっかけ

- 従業員の私生活を重視することを方針としており、子育てや独身社員の異性との出会いの機会等に配慮し、拘束時間の比較的短い勤務時間を実施し、また時間外労働の削減に力を入れている。

取組状況

- ① 法を上回る育児休業制度（子が1歳半になるまで）
- ② 育児休業取得者の代替のやりくりができる体制、育休終了時の原職復帰等、育児休業が取得しやすい職場環境づくり
- ③ 所定時間外労働の削減 等

効果と課題

効果

育児休業が取得しやすい体制や時間外労働の削減など、仕事と家庭が両立できる働きやすい職場づくりが実現できている。

課題

育児休業からの復帰時点で子どもが保育所に入るのが難しいことが多く、復帰を遅らせるなどの影響を受けている。

ワークライフバランス推進員の登録 ▶ 有

子育て応援宣言企業の登録 ▶ 有

〈登録内容〉

- ① ワークライフバランス推進員を選任し、出産休暇・育児休業・復職等に関する情報提供や相談にあたらせます。
- ② 育児休業者の代替要員を確保し、育児休業が取得しやすい職場環境づくりを進めます。
- ③ 社内報や社内研修などを通じて育児休業制度を周知します。
- ④ 育児休業者に仕事関係の情報を定期的に提供し、円滑な職場復帰を支援します。
- ⑤ 育児のための急な休みにも対応できる業務体制づくりを進めます。
- ⑥ 子どもの学校行事に参加するための年休取得を奨励します。
- ⑦ 子育ての時間が作れるよう半日単位の年休取得を実施します。